

先週の回答

小春はる
日よりの



「もし年間夫婦ゲンカ大賞があったら、まちがいなくママとパパは優勝するね」
「・・・」
「いつからなの？」
「何が？」
「冷たい戦争がはじまったの」
「何でいきなりそんなこと聞くんだ。おぼえておらん」
「ぼくが生まれる前からだって、おぼあちゃんに教えてもらったよ。ほんと？」
「そーだったかなあ・・・」
「何でも新婚初夜の晩に、ママとちがう女の人の名前を寝言で口にしたんだってね」
「そーだったかなあ・・・」
「それ以来ママの冷たい態度がつづいてるんだからいたしたもんだって、おぼ

あちゃんは感心してたよ」
「・・・」
「けど不思議におもうんだよ、ぼくは」
「何が？」
「だって、ぼくが生まれたのはそんな冷たい戦争中でしょう？冷えきった仲なのに子どもができるなんて」
「それは、小春日和もあつたからだ」
「小春日和って？」
「寒い日がつづく中に、ひよっこりあたたたい日が顔を出すのが小春日和だ」
「たしか冬なのに春のようなららかな日のことだよ。そんな日があるのかなあ・・・」
「めったにないけど、あるんだ。寒さの中休み、まあ天候のいたずら、気まぐれともいえる日だ」
「すると、ぼくはめったにない、気まぐ

れにできた子なんだ。小春日和があつたから生まれたんだ。だからぼくの名前は夏に生まれたのに春男なんだ」
「・・・」
「もう小春日和はないの？」
「何で？」
「弟か妹がほしいから」



